

エゾモモンガ

じつぶつ おな おお
※実物と同じ大きさだよ!



Q.モモンガは何のなかま?

A. 齧歯目(ネズミ目)リス科の動物でリスの仲間です。本州、四国、九州には、ニホンモモンガという種が暮らしており、エゾモモンガにそっくりですが、別種です。ニホンモモンガは日本にしか生息していない固有種ですが、エゾモモンガはユーラシア大陸北部に広く分布しているタイリクモモンガの亜種です。英語では、Flying squirrel「飛ぶリス」と呼ばれています。

● 円山動物園では
こども動物園内、ドサンコの森に
7頭のモモンガがくらしています。

● 円山動物園では
ハト餌、ニンジン、ブドウ、オレンジ、リンゴ、
小松菜、かぼちゃの種などを与えています。

Q.どこに住んでいるの?

A. 平地から山地の森林に棲息しており、主に樹洞(木にできた穴)に巣を作っています。市街地や公園など、実は身近な場所に住んでいることもあります。住む場所、食べ物、移動手段の全てを木に頼っているため、木の無いところでは生きていくことができません。

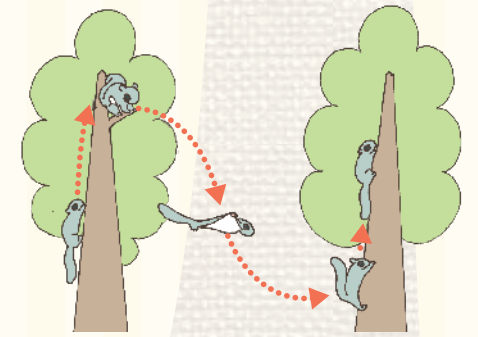
Q.何を食べているの?

A. エゾモモンガは植物食で、葉や実、種子、芽などをたべます。

● 円山動物園では
滑空するためには、まず高いところに登らなくてはなりません。距離の短い移動では、滑空するほうが余計に体力を消耗してしまうため、ジャンプして移動することが多いです。

Q.エゾモモンガって飛ぶの?

A. 正確に言うと、「飛翔する(flying)」のではなく「滑空する(gliding)」ことができます。翼があるわけではないため、羽ばたいて上昇することはできません。手と足の間に飛膜とよばれる膜があり、空気の抵抗を利用して高いところから低いところへ降下することができます。高さや風、障害物が無いなど条件が良ければ、50m程度の距離を滑空することもできます。



Q.いつ活動しているの?

A. 主に夜活動する、夜行性の動物です。日没後しばらくしてから巣を出て、日の出前に巣に戻ります。また、エゾモモンガは冬眠せず、1年を通して活動しています。寒さの厳しい冬も、短い時間ですが巣から出てエサを食べます。

● 円山動物園では
日中は巣にこもっていることが多いです
が、飼育員がエサを与える時などは、
姿をみることもできるかもしれません。

身近な野生動物の痕跡

公園や森などを歩いていると、野生動物の痕跡にであることがあります。その形や大きさで、何の動物が見分けることができます。私たちの近くには、どんな動物が暮らしているのでしょうか。

あしあと



エゾリス
跳び箱のように手足をつきます。足の指は、前足が4本、後足が5本です。

フン



エゾモモンガ
5mm程度の楕円形のフンをします。巣を出た後、毛づくろい、排便、排尿という一連の行動をするため、木の根元などにまとまってフンが落ちていることが多いです。

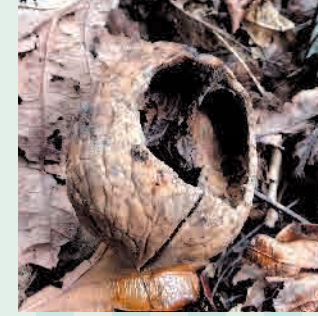


エゾユキウサギ
1~2cmくらいのころころとした球状のフンをします。

食痕
(食べたあと)



エゾシカ
冬場は餌となる葉や草などが少なく、樹皮(木の皮)を食べます。木の根元から、エゾシカの届く高さまで、木の皮がはがれています。



エゾリスとエゾアカネズミ
エゾリスは半分に割って食べますが、エゾアカネズミは両側から穴をあけて食べます。

野生動物の換毛

厳しい冬に向けて

冬の寒さが厳しい地域に住む動物たちは、寒い冬を乗り越えるために進化してきました。換毛もその一つです。冬眠をせずに冬も活動するようなエゾリスやタヌキなどは寒い中でも活動できるよう、暖かいふわふわの冬毛が生えてきます。

エゾユキウサギは換毛することで、夏は褐色、冬は白色に変わります。夏は褐色に変わること土の色に、冬は白くなることで雪にカモフラージュすることができ、外敵から襲われにくくなっています。



エゾリス



エゾタヌキ



エゾユキウサギ